

## 建学の精神

---

「女子美」の名で知られる本学園は、女性に対して高等教育機関における美術教育への門戸が開かれていなかった明治33（1900）年に、「[芸術による女性の自立](#)」、「[女性の社会的地位の向上](#)」、「[専門の技術家・美術教師の養成](#)」を目指して、美術教育をおこなう学校として創立しました。

以後、今日までの120年余にわたる長い歴史の間に、画壇・デザイン界をはじめ、教育界などあらゆる分野に優れた人材を輩出するとともに、社会で自立できる女性たちを送り出してきました。

現代においても、知性と感性と技能を併せもち、美術の専門を活かして社会的、経済的に自立できる人材の育成を、下記の教育理念のもとにおこなっています。

## 教育理念

---

高い教育力を通して、学生一人一人に、社会・世界について広く深い見識（教養・理論）と、精神的・経済的に自立できる能力（技術・芸術的創造力）を修得させることにより、女性をはじめ多様な人々が活躍する世界の実現に向けた担い手を育成する。

## 芸術学部 教育目標

---

芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を養うことを教育目標とする。このことにより、時代を超えた美を追求する個性豊かな人材や社会で活躍する専門家を育成する。

## 芸術学部 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

---

芸術学部の教育目標を基に、美術・芸術を学ぶ上で、その基盤となる知識と教養、各分野・領域の基礎力・発展力を身につけ、一人ひとりの個性を伸ばせる制作や研究を展開できる教育課程とします。

## 芸術学部 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

---

以下を身に付けたものに対して、学位を授与します。

- ・芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得している。[「知識・理解」](#)
- ・課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けている。[「関心・意欲・態度」](#)
- ・課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができる。[「思考・判断」](#)
- ・芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けている。[「技能・表現」](#)
- ・自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けている。[「技能・表現」](#)